

報道関係者各位

イグニッション・ポイント株式会社

2026年3月31日

## イグニッション・ポイント、コンサル知見×AIで企業変革を支援する『IXP』を提供開始 ～新規事業・M&A・R&D・HR・PMの5領域で、 コンサル知見を組み込んだ特化型AIによる事業変革を実現～

イグニッション・ポイント株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：末宗 喬文）は、生成AIの「限界」を突破する特化型プラットフォーム『Intelligent Transformation Platform（IXP）』を提供開始します。『IXP』は、生成AIでは届かない企業固有の判断領域に対し、コンサルティングの実務知見を組み込んだ特化型AIを提供します。新規事業・PM・R&D・HR・M&Aの5領域で、変革ノウハウの組織資産化を実現します。

### ■ 背景：生成AIの活用から見えてきた「限界」

昨今、国内企業の約75%が業務で生成AIを利用しているという調査結果（※1）もある通り、AI活用は急速に一般化しました。しかし、汎用的なAIモデルはその構造上「平均的な正解」の提示に留まり、「企業固有の文脈」や「社内に散在する機密情報」に基づいた高度な判断には対応できていません。

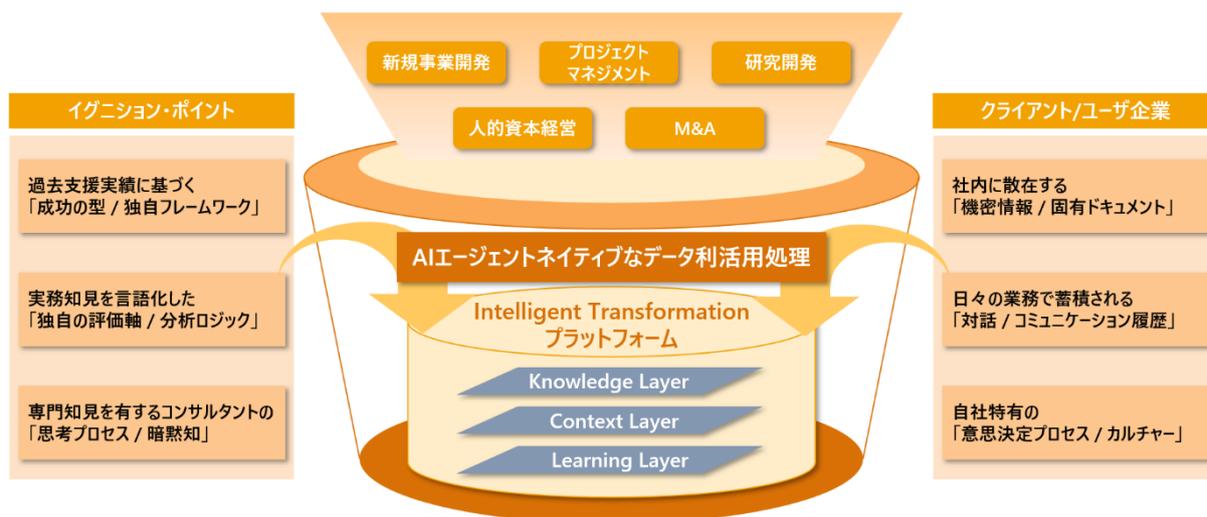
その結果、戦略策定やプロジェクト管理の要所において依然として「変革ノウハウ」が属人化し、組織アセットとして蓄積されないという課題が顕在化しています。

※1 財務省（2026）地域におけるAI活用を巡る現状（特別調査）

### ■ ソリューション：『Intelligent Transformation Platform』による組織ナレッジの共有資産化

『IXP』は、単なるプロンプト入力による汎用AIの活用（プロンプト注入）とは一線を画します。イグニッション・ポイントが有するプロフェッショナルなコンサルティング知見（成功の型や失敗の地雷、独自の評価軸や観点）を、独自のデータアーキテクチャとして構造化・実装しています。

これにより、ユーザー企業固有のドキュメントや対話データと、プロのコンサル知見を高度に融合させる基盤を実現しました。本プラットフォーム上のAIは、熟練者の「判断の理由」や「暗黙知」などの抽象的な概念を、プラットフォーム活用を通じて正確に言語化し、システム上で再利用可能なナレッジアセットとして継続的に蓄積します。



## ■ 具体的なユースケース：5つのドメインで実現する「変革の自律化」

本プラットフォームでは、特に高度な判断と専門性が求められる以下の5つの領域から、特化型パッケージを展開します。

### 1. 新規事業開発 / PdM（プロダクトマネジメント）領域

～「社内調整」から「組織的な意思決定」へ～

正解のない新規事業開発において、組織的な合意形成を強力にサポートし、意思決定の障壁の突破を支援します。

- ・リサーチの半自動化：市場調査や競合分析などの膨大な情報収集・整理をAIが代行します。
- ・社内調整の最適化と「落としどころ」のレコメンド：議事録やチャット履歴からステークホルダーの意向や懸念点を分析。対立構造を整理した上で、合意可能な調整シナリオを提案します。
- ・プロセス・レビュー観点の資産化：事業化判断の基準や撤退ラインの判断プロセスを形式知化し、再現性のある事業開発体制を構築します。

### 2. プロジェクトマネジメント（PM）領域

～「進捗管理」から「ステークホルダーの満足度最大化」へ～

属人化しやすいPM業務において、AIがプロジェクトの成功率を高めます。

- ・成果物/ドキュメントレビュー：AIが品質基準や過去のレビュー知見に基づき、ドキュメントの抜け漏れ・矛盾を自動検出。レビュー工数を削減しつつ、成果物の品質を標準化します。
- ・進捗・オンタイムの厳格な可視化：遅延リスクの早期発見と、是正アクションを提示します。

・承認ゲートの観点言語化・蓄積：フェーズ移行時の承認判断において、熟練PMの視点を言語化し、組織の資産として蓄積します。

### 3. 研究開発（R&D）領域

～「不確実性」から「戦略的シナリオ」へ～

長期的な視点が必要なR&Dにおいて、AIが思考の壁打ち相手となりつつ、研究と事業化の橋渡しをします。

・注力研究テーマ選定支援：外部情報を収集し、各種フレームワークを用いた分析をAIが行うことで、新たな研究テーマのアイデア創出を支援します。

・事業性評価支援：企業内に蓄積された膨大な知見を基に、コンサルティング知見を組み込んだ独自ロジックを用いて、研究テーマの事業性をAIが客観的に評価します。

### 4. 人的資本経営（HR）領域

～「管理・運用」から「個と組織ポテンシャルの解放」へ～

定性的な情報が多く判断が難しい人事領域において、データに基づいた最適配置とエンゲージメント向上を実現します。

・戦略的目標管理（OKR/MBO）運用支援：全社戦略と個人の役割を照合し、適切な目標設定案をAIがレコメンド。実績データに基づいた客観的なフィードバック案で、納得感のある評価運用を支援します。

・スキル・カルチャーフィットの高度マッチング：過去の評価コメントや面談記録から「見えない特性」をAIが分析し、最適な人材配置/異動案を提示します。

### 5. M&A領域

～「膨大な分析工数」から「人ならではの価値創造」へ

M&Aプロセスにおいて、これまで膨大な時間をかけていた情報処理・分析をAIが支援することで、投資業務における人間ならではの価値、すなわち「人」を起点とした価値創造へとシフトさせます。

・投資判断支援：これまで数日かけて行っていた買収案件に対する初期的買収判断を、AI Agentにより数時間単位まで自動的に実施します。

・デューデリジェンス（DD）の効率化・高度化：数万に及ぶ膨大な資料から必要情報を短時間で抽出し、外部情報と接続させ分析することで、デールの精度・速度を向上します。

・PMI高度化：PMIにおいても、統合論点の抽出から実行支援、モニタリングに至るまでをAIで高度化します。これにより、従業員やステークホルダーとの対話といった「人ならではの価値創造」に、より注力できる体制を構築します。

## ■ 提供価値：「AIが解く → 人が導く → 組織が育つ」

『IXP』は、AI・コンサルタント・組織の三者が連動することで、企業の変革を確実に前進させます。

### 1. AIが解く——特化型パッケージが、生成AIの届かない領域をカバー

汎用AIが「平均的な正解」に留まる領域に対し、『IXP』は各ドメインの実務知見を組み込んだ特化型パッケージを提供します。企業固有の文脈や機密情報を踏まえた高度な判断を、導入直後から実現します。

## 2. 人が導く—— コンサルタントの伴走による成果コミット

AIの推奨アクションに加え、必要な場面ではイグニッション・ポイントのコンサルタントが実務を伴走します。ツール提供に留まらず、変革のプロフェッショナルパートナーとして確実な成果創出にコミットします。

## 3. 組織が育つ—— 実務を通じた人材育成と組織資産化

プラットフォームの活用を通じて、社員はコンサルタントクラスの視座と熟練者の思考プロセスをインストールできます。『IXP』はAIに業務を代替させるだけでなく、「使えば使うほど、人もAIも賢くなるメカニズム」を内包しています。

## ■イグニッション・ポイント株式会社について

イグニッション・ポイントは、クライアントのイノベーションや変革を支援するとともに、自ら事業創出/共創を行うイノベーションファームです。イノベーションとテクノロジーで日本の再興に貢献するため、新事業創出やDX/AI支援を強みに、コンサルティング/イノベーション/インベストメントの事業を展開しています。

所在地：東京都渋谷区東1-32-12 渋谷プロパティータワー8F

設立：2014年6月4日

代表者：末宗 喬文

事業内容：

- ・コンサルティング事業：新規事業やDX/AIを中心としたコンサルティング
- ・イノベーション事業：企業・アカデミア・行政と連携した新事業創発
- ・インベストメント事業：スタートアップ投資と投資先の成長支援

URL：<https://www.ignitionpoint-inc.com>

## 【本件に関するお問い合わせ先】

イグニッション・ポイント株式会社 担当：浦木

Email：[info@ignitionpoint-inc.com](mailto:info@ignitionpoint-inc.com)